

ひだまり

2016.1
Vol.3



1月7日 みずき飾り



新年ご挨拶



「新たな十年のはじまり」



理事長 田鎖洋子

新年あけましておめでとーいございます。昨年は、たくさんの方々にご支援・ご協力を頂きましてありがとうございます。本年もよろしくお願い致します。

昨年を振り返ってみると、NPO法人の解散、社会福祉法人の設立、ひだまり北上中央の開所、ひだまり江刺岩谷堂の移転等、目まぐるしい一年だったと思います。職員の間はもちろんのこと、関係者の皆様方の温かいご指導・ご支援の賜物であることは間違いありません。我が法人の基本理念は、「人に尽くし 人に学び 人に感謝せよ」です。私たちは、誰のためにこの事業を行っているのか、原点は何なのか、常に忘れないよう、そしてこの法人はたくさんの方々に支えられていることに感謝しなければいけません。

平成十八年に、NPO法人地域ふれあいステーションひだまりとしてスタートしたひだまりは、今年の二月十六日で丸十年を



迎えます。二月十一日には、ひだまり創立十周年記念式典及び祝賀会を開催します。この十年は、本当にあつという間の十年でした。経験も不十分な上、右も左もよくわからず、思いのままに社会福祉法人を飛び出し、NPO法人を作ったのは十年前でした。そして、利用者さんの増加と共に事業所が増え、NPO法人から社会福祉法人になることは、十年前には想像できませんでした。

この十年、苦しかったこと、大変だったこと、悲しかったことたくさんありますが、嬉しかったこと、楽しかったことが大半だったと思います。我が子のようにそして我が家族のように、利用者そしてご家族の皆様方と試行錯誤してきた十年だったと思います。

また新たな十年のはじまりとなります。社会福祉法人としての社会的責任もさらに大きくなります。利用者・ご家族の皆様の支援を第一に、よりよい地域社会の実現に貢献できますよう、邁進して参りたいと思います。今後とも皆様方のお力添えをよろしくお願いし、新年のご挨拶と致します。



視察見学報告

社会福祉法人 花輪ふくし会

去る、十二月三日秋田県鹿角市にある、社会福祉法人花輪ふくし会さんを見学させて頂きました。法人運営協議会のメンバー等で、今後の事業運営のために見学をさせて頂きました。

けまないらくらくエリアから見学をしましたが、地域へ開放をしている多世代交流スペース「どまっこ」も兼ね備え、一つのエリアに高齢者そして障がい者のグループホーム、就労拠点もあり、非常に魅力的な施設でした。

就労センターさんも見学し、障がい者の就労についても勉強をさせていただきました。花輪ふくし会の皆様、お忙しい中対応して頂き、ありがとうございました。



放課後等デイサービス事業所ひだまり江刺岩谷堂移転のお知らせ



ひだまり江刺岩谷堂管理者 菊池美紀

日頃、皆様方には法人及び事業所の活動にご支援ご協力を頂きまして誠にありがとうございます。さて、ひだまり江刺岩谷堂は平成二十七年十一月二十九日に移転を致しました。引越しにご協力頂きました皆様には大変感謝しております。お陰様で利用されている子ども達は、広い事業所で元気に過ごしております。





第九回 ひだまり合同クリスマス会

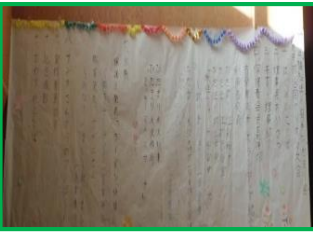


十二月二十日(日)、江刺市総合コミュニティセンターにて「第九回ひだまり合同クリスマス会」が開催されました。

八月に北上中央が開設されたこともあり、利用児童・者、保護者、ご来賓、職員ら合わせて三〇〇名とこれまでで一番多い参加となりました。

そのため初の試みとしてテーブルをなくし、椅子のみとし、また、サンドウィッチやケーキも持ち帰りとするなど午前の開催としました。シフォンケーキはワークセンターわかくささんより購入しました。

プログラムの挿絵は、ひだまり水沢森下(児童課)利用の鎌田涼太さんに、また会場内の掲示用プログラムは、ひだまり水沢横町利用の後藤美咲さんに、この日のために書いていただいたものです。



また司会進行はひだまり

江刺桜木利用の高橋昌志さんに協力していただきました。

音楽療法は、

会場にいらっしゃるみなさま全員と松本圭子先生とが楽しく歌ったり、手指を動かしたり、演奏の掛け合いがあったりと、会場全体がひとつになり、交流を楽しんでおりました。

利用者発表は「妖怪ウォッチ宇宙ダンス」(江刺桜木・江刺岩谷堂・北上中央)、「GUTS!」(森下 児童課・生活介護課)、「ミッキーマウスマーチ」(水沢駅東・水沢横町)が披露されました。

今年度も、奥州市歳末たすけあい運動地域福祉活動費配分金事業、ひだまり保護者会からの助成金を頂き開催しております。

三〇〇名の皆様が、無事に楽しく過ごせたことを職員一同嬉しく感じ感謝しております。ありがとうございます。



保護者会の余興「ラーメン体操」は、ステージに入りきれないほどのたくさんの参加があり、様々なコスチュームを身にまとった保護者さんからたくさんのパワーをいただき、会場は大盛り上がりでした。着ぐるみは、広瀬保育所様より頂きました。

クリスマスツリーはひだまり北上中央の大家・大塚様より、お菓子のクリスマスブーツは株式会社ホソカワ様よりご寄贈頂きました。皆様ありがとうございました。



江刺桜木



はじまりのことば



森下（生活課）



江刺岩谷堂



水沢駅東



水沢横町



おわりのことば



北上中央



森下（児童課）





研修参加報告

「鹿児島大会」に参加して



相談支援事業所ひだまり
管理者 藤原 淳哉

平成二十七年十月二十六、二十七日、鹿児島市で行われました『第十三回 全国児童発達支援施設運営協議会（鹿児島大会）』に参加させていただきました。十月末でしたが鹿児島は気温は二十五度と、岩手とは約十度近い差があり、抜けるような青空と熱帯性の街路樹が青々と生い茂っている風景にびっくりしました。



本大会のメインテーマは『育ちを支える支援の輪を広げよう』子どもたちが地域で豊かに生きるために』です。地域社会への参加と包容（インクルージョン）の推進と合理的配慮について話し合いがなされました。大会を通じて何度も繰り返し返されたキーワードは、

一、「量から質への転換」

（サービスの質が求められる時代の到来。アンパンマンのDVDを見せて終わりというようなアンパンマン放課後等デイサービスは淘汰されます。）

二、「縦横連携の推進」

（幼児・学童期・青年期といったライフステージごとの縦の支援と、各年齢期に合わせた保険・医療・福祉・保育・教育・就労・余暇活動といった横の支援が重要です。）

三、「重症心身障がい児と医療的ケアが必要な障がい児を支えていくために必要なサービスの充足」。

大会で学んだことを職場のみんなに伝えること、それを職員一人一人が日々の仕事に活かすことは、よりよい本人様支援につながります。

本人様の五年後十年後を見据え、保護者の皆様とともに歩んでいきたいと思いを新たにしました。

終わりに、大会講演会でのことば（詩）を紹介します。その日が一日でも早くやって来ることを願います。

「なんでここに居るの」と言われた子が、「ここにいてもいいよ」と言ってもらい、そして、「いてくれてありがとう」と言ってもらい、そして、「君がいてくれないとだめなんだ」と言ってもらいたい。





ひだまり音楽療法の十年

音楽療法士 松本 圭子

ひだまりの音楽療法は十年前、数名の参加者が和室に集まりスタートしました。少しずつ音楽の輪が広がり、今ではたくさんの仲間が集う場になっています。

子どもたちは音楽療法の場面で、いろいろな「関わり」の中で成長し、私はその「関わり」を音楽で支えてきました。

今回は「関わり」をキーワードに、子どもたちがどのように変化してきたのかを振り返ってみたいと思います。

① 環境(グループ)との関わり

音楽療法を開始する時の大切な作業が目標の設定やグループの決定です。ひだまりの音楽療法では、職員さんとグループ構成や目標を検討し、必要に応じて見直しをしながら進めています。お子さんの課題に沿ったグループで実施し、発達支援をしています。

② 楽器との関わり

音楽療法ではいろいろな楽器を使って活動します。不思議な音の楽器やきれいな音の楽器、大きな音や小さな音・・・色々な音に刺激され集中力も高まります。更に、

楽器の先にいる「他者」にも気づき、楽器活動を通してコミュニケーションの力を育てます。

③ 友だちとの関わり

子どもたちの成長段階に合わせて、音楽療法の中で友だちと協力する場面を設定します。二人組の活動で相手に合わせ譲り合う経験やリーダー役の経験をする中で、友だちとの関わり方を学んでいきます。音楽が子どもと子どもをつなぐ役割をします。

グループ活動が苦手で、はじめは机の下に隠れていた子が今ではリーダーとして仲間を引っ張り支える姿を見ると成長を感じます。

人はいろいろな「関わり」の中で生きています。沢山の人と出会い、その人との関わりを楽しむ豊かな生活を送りたいものです。音楽を通して学んだ関わりが、人と一緒に生きる楽しさにつながることを願って、これからも続けて行きたいと思っています。



寄贈品について

以下の方々よりご寄贈いただきました。

・平成二十七年十一月二日
平成二十八年一月六日

株式会社公楽ウインズ奥州様より
お菓子・ペン(水沢森下・江刺桜木)

・平成二十七年十月八日・十二月一日
及川敦様より
本等(法人本部)

・平成二十七年十二月九日
鈴木孝子様より
本(法人本部)

・平成二十七年十二月十五日
横山康定様(横山健太郎さん宅)より
年賀はがき百枚(江刺桜木)

御寄贈いただきました方々、ありがとうございます。子ども達も大変喜んでおります。大切に使用して参りたいと思っております。





広報・研修担当理事

向山 晃

弁当のふたについている一粒のごはん粒が気になる日本人のDNAは、私たちの年齢で終わりだと思う。大事に大事に育てられた「お米」は今、消えようとしている。

お百姓さんの苦勞を少なくするための機械化は、抜群に「重労働」をなくしてくれた。しかし、大量生産の影に細やかさは消えた。機械が動きやすいように予め、田んぼの隅を植えずに、だから稲刈りも不必要になり、随分楽になった。同時に刈り残したような稲や落ちた稲を拾うようなことをしている姿はみだことがない。「落ち稲」拾いは死語になった。お百姓さんの労働の軽減の代償になが失われただろう。

それは「お米」は「米」になり、おいしいといわれた日本米は消えていくにちがいない。それに加えて、「米」をおいしいと思う日本人の舌は消滅するだろう。仕方のない時代の流れといえればそれもそうだが、淋しさは私だけだろうか。

「大型」は大量生産を生み、合理化を進めるが、そのかわり、細やかさや丁寧さを失うことになる。

大きな法人が、運営は楽だが細やかさが

失っていくことを示していないだろうか。かといって小法人がいいとも限らないし…。運営の仕方に見極めがあるようだ。

ご案内

本年、当法人がNPO法人を含め、ひだまり創立十周年を迎える運びとなりました。つきましては、皆様への感謝の気持ちを込めて、「ひだまり創立十周年記念事業公演」を開催いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時 平成二十八年一月三十一日(日)

一部公演 一般の部 午前十時から

二部公演 ひだまり利用者・福祉施設利用者

者の部 午後一時三十分から

公演内容

・チームファンタジスタ

・フレアイガー

・わんこ兄弟(おもっち)

会場 江刺総合コミュニティセンター
(ヒロノ福祉パーク)

参加者 一般児童、障がい児者、家族・施設関係者・関係機関職員・その他

障がい福祉に興味のある方等

参加費 無料 上履きをご持参下さい。

問合先 法人本部 担当 千葉

電話 〇一九七・四七・四二二二

編集後記

明けましておめでとうございませう。今年ひだまりが開所してから十周年を迎えます。広報誌でも、ひだまり創立十周年記念事業公演、ひだまり創立十周年記念式典及び祝賀会の様子をお届けしたいと思います。あわせて、今年も日々の様子や活動の様子などを紹介して参りたいと思います。本年もどうぞよろしく願います。(立山)



発行・編集 社会福祉法人岩手ひだまり会

広報委員会

印刷 有限会社江刺プリント社

岩手ひだまり会法人本部

住所 〒023-0828


奥州市水沢区東大通り二丁目4番3号

KSビル2階

TEL:0197-47-4222 FAX:0197-47-4223

URL: <http://ousyu-hidamari.or.jp>

ホームページ検索

『社会福祉法人岩手ひだまり会』を  クリック